学校番号	1013

令和２年度　福祉科

教科	福祉	科目	介護福祉基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	介護福祉基礎（実教）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・介護分野に関心をもち、積極的に取り組むこと
・現代社会で起きている課題を演習や実技を通して考え、理解を深め、知識を身につけること
・実践的・体験的な学習を通して、確かな技術を身につけること
・生徒の主体的な授業への取り組みを重視していく
・将来の人生の中で役立つ介護技術などを多く取り上げていくこと
・介護の実技試験も行い、実際の体験学習を行っていく。

２　学習の到達目標

到達目標	・介護に関する基礎的な知識を習得し、専門職についての理解を深める。 ・介護が必要なすべての人に貢献できる専門的知識と技術の習得し、社会状況の変化に対応できる知識を身につける。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	介護に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらをその充実向上をめざして、主体的に取り組むとともに実践的な態度を身に付けている。	介護について生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	介護に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	介護に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察（授業態度、出席状況） ノート・プリントの記述 レポート、自己評価	学習状況の観察 （授業態度） ノート・プリントの記述 定期考査の結果	学習状況の観察 （授業態度） ノート・プリントの記述 定期考査の結果	学習状況の観察 （授業態度） ノート・プリントの記述 定期考査の結果
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	介護の意義と役割	○第1章　尊厳を支える介護 1. その人らしく・尊厳・基本的人権 2. 高齢者の人格と尊厳	○				a:課題に対して意欲的に参加している b:工夫や創造する能力を発揮することができている c:介護に関する基礎的・基本的な技術を身に付ける d:尊厳を支える介護の目的と知識を身に付ける	授業中の取り組み プリント ノート レポート 期末考査
		○第2章　介護従事者の倫理 1. 尊厳・プライバシー保護 2. 専門性と基本姿勢	○	○		○	a:専門性と基本姿勢に関心・探究心を持ち、意欲的に取り組むとともに実践的な態度を身に付ける b:介護の中に潜んでいる課題を見出し、その解決を考え、適切に判断する能力を身に付ける。 c:プライバシーに関する基礎的・基本的な技術を身に付ける d:専門職としての倫理観を理解し、知識を身に付ける	
	介護を必要とする人の理解と介護	○第1章　高齢者の生活と介護 1. 生活支援 ①高齢者に見られる特徴的な症状 ②高齢者と活動 ③認知症高齢者 ④環境の考え方 ⑤高齢者の家族関係	○			○	a:生活支援について関心を持ち、普段の日常生活と照らし合わせ、積極的に発言や意見交換を行うことができる。 b:介護の定義を理解し、現代社会においての問題や課題に取り組むことができる。 c:教科書を通して、自分の意見をまとめることができる。 d:高齢者の生活と介護についての知識を身に付ける。	
2	介護を必要とする人の理解と介護	○第1章　高齢者の生活と介護 2. 生活を支える介護 ①コミュニケーション ②観察 ③運動・移動介護の基本(1) ④運動・移動介護の基本(2) ⑤食事介護の基本 ⑥排せつ介護の基本(1) ⑦排せつ介護の基本(2) ⑧着替え介護の基本 ⑨入浴介護の基本		○		○	a:介護技術に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b:介護の意義とコミュニケーションについて、主体的に考察し、その結果を表現することができる。 c:設定された主題について、考察に必要な情報を収集し、有用な情報を読み取りまとめることができる。 d:基本的な介護技術の定義・原則を関連付けながら理解し、その知識・技術を身に付けている。	授業中の取り組み プリント ノート レポート 期末考査 実技試験

3	介護福祉の担い手	○第一章　介護従事者をとりまく状況 １．介護福祉士の養成 ２．介護人材の確保と定着 ３．介護従事者のキャリアアップ研修 ４．介護従事者の社会的地位向上	○		○		a:介護従事者に関わる主題を意欲的に考察し、関心を高めようとしている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c:体験や視覚教材を通して、有用な情報を選択して、読み取ることができる。 d:介護従事者についての知識を身に付けている。	授業中の取り組み プリント ノート レポート 学年末考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。